



須坂市総合防災訓練

▲須坂市総合防災訓練が相森中学校にて開かれました。(8月28日)



2011 10 (平成23年)

須坂市消防団広報紙

さくら：消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

「東日本大震災に思う」

三月十一日の東日本大震災は未曾有の大災害となった。自動車や船が流され、家を破壊していく津波の映像は、多くの人の目に焼きつき、自然の力の大きさは、人間の想像をはるかに越え、被災地の人々を始め多くの人に大きな悲しみと喪失感を与えた。

そうした中、翌日、シャルケの内田篤人のメッセージ「日本の皆へ、少しでも多くの命が救われますように。共に生きよう！」は多くの人の心に衝撃を与え、私達にも何かできることがあるんじゃないか、何かをしようと思わせた。気持ちは伝染するものだ。今、被災地の子ども達の多くが「社会に役立つ人となり、恩返ししたい」と言っている姿を見ると、負けてられない、俺もがんばらねばと思う。



須坂市消防団長 依田 浩明



火災発生状況 (平成23年1月1日～9月末日)

須坂市 30件

住宅用火災警報器設置率

須坂市 57.8%
(調査地域を半年ごとに替えており普及率は上下します。)
(平成23年6月現在)

設置しましたか?
住宅用火災警報器!!
～平成21年6月1日からすべての住宅において設置が義務化となっています！～

須坂市消防団による 東日本大震災及び長野県北部地震に対する義援金等

長野県消防協会支援金	482,000円
日本消防協会、殉職消防団員の見舞金	236,800円

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎよ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、「大切な家族や地域を守りたい」という思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団管轄区域 第1分団 1部 穀町、上町 2部 坂田町、南原町 第2分団 1部 本上町、上中町、中町、常盤町 2部 屋部町、小山町、北原町 第3分団 1部 横町、東横町、立町 2部 南横町、北横町、馬場町、西町、須坂ハイランド町、田の神町 3部 八幡町、境沢町 第4分団 1部 春木町、新町、太子町、相森町 2部 高橋町、大谷町、本郷町

各分団の活動紹介

今号より二ヶ分団ずつ紹介します。

第1分団

一分団の管轄は、穀町、上町、坂田町、南原町です。これらの地域は住宅密集地が多く、一度火災が起きると大災害になる恐れがある地域と言えます。

そこで一分団では、伝統的に月に一度夜警を行い、予防消防に努めています。

また、町の文化祭や敬老会などでラップ吹奏を行ったり、一分団独自の広報紙を作り回覧したりと、区民のみならずとより深い繋がりを持とうと努力しています。

一分団員をみかけたら是非気軽に声をかけてください。



広報紙 南原町文化祭にて

こんにちは、第2分団です。

〇私たち第2分団は、本上町、上中町、中町、常盤町の4町で編成される1部と屋部町、小山町、北原町の3町で編成される2部とで活動をしています。少人数ながら団員の絆は固く、地域住民の皆様へ愛される分団をめざし、昼夜を問わず奮闘中です。

是非私たちの活動にご理解を賜りますと共に、我こそはという方がいましたら、随時団員を募集していますので(女性の方も大歓迎)、お気軽にお問い合わせください。



隣町自主防災会の皆様との合同放水訓練(8月)



2分団ポンプの点検(8月)

消防団音楽隊 第27回 定期演奏会

皆さまに楽しんでいただける演奏会を目指して、隊員一同がんばって訓練を重ねておりますので、大勢のご来場を心よりお待ちしております。

と き 11月13日(日)
と ころ メセナホール
開 演 午後5時(4時開場)
※東日本大震災・長野県北部地震チャリティー

【演奏曲目】

- ・高き山へ、遠き川へ ～祝典のための前奏曲～
- ・江～姫たちの戦国～ (メインテーマ)
- ・Got It On～黒い炎～
- ・マル・マル・モリ・モリノ (薫と友樹、たまにムック。)
- ・バイレーツ・オブ・カリビアン・メドレー
- ・第九 プラスロック ほか

※県大会広域交流会出場チーム、須高消防協会ラップ隊の合同演奏会もあります。



バリトン・サクソフーン 樋口 麗 (望岳台)

編集後記

須坂市消防団長 依田 浩明

編集委員長(分団長会長) 中澤 敬(第8分団長)

私たち消防団の活動を市民のみならず、より知っていただきたい思いで、この広報紙を発行しています。

今号では、御家族のみならずの声、各分団ならではの活動など掲載させていただきました。

この広報紙で消防団を身近に感じていただき、また入団への後押しとなっていたいただければ幸いです。

【編集委員】

- 副団長 成田 敬
- 副団長 田中 勝
- 副団長 波多 樹
- 音楽隊長 豊田 伸
- 第1分団長 丸山 理
- 第2分団長 渡邊 和
- 第3分団長 大日方 寛
- 第4分団長 木下 和
- 第5分団長 久保田 健
- 第6分団長 池森 隆
- 第7分団長 塚田 武
- 第8分団長 中塚 敬
- 第9分団長 篠塚 真
- 第10分団長 大塚 和
- 第11分団長 坂田 仁

須坂市消防団広報紙「さくら」第8号
編集・発行/須坂市消防団(事務局:須坂市消防本部総務課)
〒382-0094 須坂市大字小山1308 TEL026-245-4100 FAX026-248-4480

「消防団活動を通して」 主人が第九分団長に任命さ



かこ 恵子さん
第九分団長

自営業の我が家では、組織の中で様々な経験も大切で、はとの思いで、十四年前息子に入団を勧めたと覚えています。親の欲目ですが、第三分団の皆様の始め、多くの方々に文えられながら、少しは社会性が培われ、使命感も身についたように思います。特に活動の一つ、技術大会に向けての早朝練習では、選手を支える団員、OBの一致団結の精神が、一生の宝となったようです。消防団でしか経験できない、これからの体験が、今後の人生にきつと役立つのではないのでしょうか。御家族の御理解を頂き、もっと若者が入団できますよう、節に願っております。

組織の中での経験も大切



おつか 洋子さん
大日方 洋子さん

消防団員 家族の声

れ、任期も残りわずかとなくなりました。地域や家族を守る為の消防団活動は、本当に大変なことだと思えます。日頃から、防災について考えていきたいと思えます。また出初式のパレード、消防技術大会での写生大会、定期演奏会、子どもたちと一緒に参加し楽しませて頂きました。大変良い思い出になりました。

皆様のおかげ



（第7分団長）
ほし野 武弘さん

入団当時の自分を思い返すと、何の能力もないにもかかわらず、態度だけは生意気で、今はただ穴があいたら入りたいたい気持ちから入っています。そんな私が、まだまだ一人前とは言えませんが、曲がりなりにも分団長として仕事を進められるようになったのは、皆様のおかげです。今年で退団いたしますが、七分団には、ちよくちよく顔を出したいと思えます。変わらぬお付き合いをいただけたら幸いです。

須坂市消防団 ☆ 団員募集中

地域を愛する消防団に入団しませんか？きつとかけがえのない仲間ができるはず。男性女性はいません。災害対策に女性の力は必要不可欠です。

【対象】 18歳以上の男女で市内在住または市内に勤務している方

問合せ 須坂市消防本部総務課 (☎026-245-4100)
e-mail: s-shobo@city.suzaka.nagano.jp
※お知り合いの消防団員に気軽に声をかけていただいても大丈夫です。



▲「広報消防基金」 消防団たずねあそびの取材のため、ダニエル・カール氏が訪問（6月8日）

写真で見る 消防団 の活動 4月～9月



▲高山村わらび平スポーツ広場で行われた「空中消火訓練」放水訓練を実施（5月29日）



▲「団幹部研修視察」大阪府門真市消防団との交流（8月6・7日）



▲「長野県消防技術大会」須高消防協会として、ラッパ交流会に参加（7月31日）

須坂市消防団管轄区域 第7分団 7部 二陸町 第8分団 1部 下八町 2部 上八町 3部 野辺町、望岳台 4部 村石町、明徳町 第9分団 1部 仁礼町(仙仁、瀬之脇、宇原、西原、浅間塚、福沢)、峰の原 2部 仁礼町(常盤、中村、新田) 3部 仁礼町(関谷、榎倉) 第10分団 1部 倉倉町、夏端町 2部 米子町 3部 塩野町 第11分団 1部 大日向町、豊丘町 2部 豊丘上町

6月11日 須坂市消防団 消防技術大会

小型ポンプ操法 8分団 優勝!! ラッパ吹奏 11分団

ラッパ吹奏大会結果		小型ポンプ操法大会結果	
1位	11分団	1位	8分団
2位	1分団	2位	7分団
3位	8分団	3位	3分団
4位	7分団	4位	11分団
5位	5分団	5位	10分団
6位	3分団	6位	4分団
7位	9分団	7位	6分団
8位	4分団	8位	5分団
9位	2分団	9位	9分団
10位	10分団	10位	2分団
11位	6分団	11位	1分団

消防技術大会とは
各分団対抗で、ポンプ操法、ラッパ吹奏を競い合い順位をつける大会です。これは、ただ競技をするだけでなく、消防団が災害現場で行動するにあたり、迅速かつ正確に動けるよう鍛えるものであります。
また、この大会へ向けての訓練により、消防団になくてはならない団結力を高めることができます。



第11分団



第8分団

「一致団結」
今年の消防技術大会は、十一分団が一致団結した、その一言に尽きます。
分団長から一般団員まで、同じ方向を向き、同じ目標に進む。ポンプ操法もラッパ吹奏も、同じ十一分団として協力し合い、全員が自分のやるべき事をしっかりとやる、そんな雰囲気を選手たちのやる気の後押しし、励まし、そしてその選手たちの頑張りがまた周りを盛りあげるといふ良い環境ができていたと思います。結果優勝という名誉を頂いた訳ですが、私がこの大会で得たものはそれだけではありません。
良い環境を作って頂いた十一分団の皆様、本当にありがとうございました。



（第11分団ラッパ長）
つば田 昌明さん

「新入団員なのに」
まさか自分が消防団に入るなんて想像もしていなかった。何度も勧誘を断っていたのにいつの間にか入団していた。そしていつのまにか操法の選手になっていった。新入団員なのに。
操法の訓練は想像を超えるものだった。毎日毎日練習、



（第8分団団員）
関野 充則さん

伝統ある八分団として負けられないプレッシャー。そんなこんなで白髪が急に増えた。それでもここまで練習して、先輩方にみっちり教えてもらっている、なんとしても優勝したくなっていた。そして長い期間練習した成果を本番に出せて優勝できたあの喜び、感動は今でも忘れられない。毎日優しく教えてくれた先輩方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
これからは、消防団員として規律を学んでいき、地域のために貢献していきたいと思っています。

須坂市消防団管轄区域 第5分団 1部 高畑町、旭ヶ丘町、北旭ヶ丘町、松川町、光ヶ丘ニュータウン 2部 南小河原町、小河原町、新田町 3部 小島町、豊島町 4部 相之島町、北相之島町 第6分団 1部 高梨町、五閑町 2部 塩川町 3部 沼目町 4部 八重森町 5部 村山町 第7分団 1部 井上町 2部 福島町 3部 中島町 4部 九反町 5部 幸高町 6部 米持町